



とよなかASPネット

第 2号

とよなかASP
ネットワーク連絡会

発行日 H24. 9. 3.

昨年度の帰国・渡日児童生徒の編入数は、東日本大震災の影響もあってか、いったん落ち込みましたが、今年は例年並の人数の児童生徒が、市内の学校へ編入しています。近年は社会の国際化、グローバル化に伴って、編入児童生徒の状況も大きく変わっています。日本国籍はあるけれども家庭内言語等生活上、日本語以外の外国語を使っている、また、両親は日本人ではあるけど家庭の教育方針等により生活言語を外国としている、さらに海外で生まれ海外の文化のなかで育ったため日本人でありながら日本文化に接する機会がほとんどない等々、状況は様々です。そのような中、日本語がわからない子どもたちが日本の学校で日本語を使って学習や生活を送ることは周りで思っている以上に大変なことなのです。

そこで、本年度、豊中市国際教育推進協議会では、ESD実践ガイドにあわせ、学習言語としての日本語を習得する必要がある児童・生徒への指導に関わって、個々の状況調査等について研究に取り組んでいます。

現在、文部科学省では、日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議を設置し、日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方について具体的な検討を行うとともに、当該児童生徒に対する教育の充実を図るための具体的な教育施策等についても広く検討を行っているようです。

昨年度より必修化された小学校外国語活動」は、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じ言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を養うことを目標として様々な活動を行うことになっています。新田小学校をはじめとよなかASP校では、フレンドシップスクール提携を交わし、交流を行うことで子どもたちが外国語に触れ親しむ機会を積極的に設けています。

7月24日(火) 新田小校長先生が、フレンドシップスクール提携校のNZクライストチャーチ オホカスクール7・8年生に対して、8月22日(水) 桜井谷小校長先生が同ノースロバースクール全校児童に対して学校紹介と学校行事、地域活動等を説明しました。

オホカスクールの子どもたちから、校長先生は何を教えているのですか？地震の影響はありましたか？集団登校するのは何故？学校の開始と終了時刻は？校長先生は何年間していますか？等の質問がありました。

2学期初めにはNZの各スクール校長先生から桜井谷小、新田小の児童へ学校紹介をしていただきます。これを機に両校は、交流学習を進めていくことになっています。



新田小&オホカ

桜井谷小&ノースロバース



7月6日(金) 桜井谷小
中国山東師範大学付属小学校 5年児童
25名来訪 5年生と交流



太極扇・民族舞踊を披露・給食体験

7月12日(木) 上野小
中国杭州市大関小学校 5年児童 23名
来訪 5年生と交流



教科学習・外国語活動・給食体験

◆ 今秋初の試み!

NZカンタベリー大学教育学部学生6名が豊中ASP校で教育実習

来年以降の受け入れに向け試験的に取り組みます。実習期間には、外国語活動にも参加予定です。



平成24年度(2012年度) ユネスコスクール全国大会

1月26日(土) 奈良市 27日(日) 世界遺産全国サミット

*第十一中 自然科学部の生徒が発表予定です。